

令和 7 年度生成 AI サービス利用業務仕様書

1 目的

市民視点の行政サービスの実現及びデジタル技術の活用による行政運営の効率化の観点から、生成 AI の利用により、事務処理負担の削減、生産性向上を図り、庁内業務の効率化、市民サービスの向上を目的とする。

2 サービス利用期間

2025 年（令和 7 年）4 月 1 日から 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日まで

3 業務内容

(1) 生成 AI サービスの提供

クラウドサービス（SaaS 型）による生成 AI サービスを提供すること。

(2) 運用・保守・サポート

使用方法に関する問い合わせに対し、電話及び電子メール等による対応を行うこと。

(3) 導入研修

- ① 基本操作または生成 AI の利用を習得するための研修を 1 回以上実施すること。
- ② 研修の参加人数に制限を設けないこと
- ③ 研修時の会場及び使用端末は明石市が準備するものとする。
- ④ リモートによる研修も可能とする。
- ⑤ 研修内容は録画を行い提供すること。

4 生成 AI サービスの仕様

- (1) LGWAN-ASP で提供されるサービスであること。またインターネットからも利用することができること。インターネットからの利用時に IP アドレス制限が可能なこと。
- (2) Microsoft Edge、Google Chrome で利用できるものであること。
- (3) 原則 24 時間 365 日（計画停止は除く）利用できること。
- (4) アカウントの利用数は無制限とする。
- (5) アカウントの同時接続数は 50 以上とする。
- (6) 利用する生成 AI モデルは、日本国内リージョンで GPT3.5turbo、Gemini1.5 Flash、Claude3Haiku 及び GPT-4o が利用できること。またユーザー側で生成 AI モデルの切り替えが可能な仕組みであること。
- (7) 管理者が管理画面から明石市の環境で利用する生成 AI モデルを制限する設定ができること。
- (8) GPT3.5 turbo、Gemini1.5 Flash、Claude3Haiku の利用は、文字数が無制限

に利用できること。GPT-4o の利用文字数は 1 か月あたり 500 万文字以上とし、利用可能な上限設定が可能なこと。

- (9) 利用可能な生成 AI モデルで音声認識機能及び画像認識機能があること。
- (10) 利用可能な生成 AI モデルで画像生成機能があること。
- (11) 生成 AI に入力した情報が学習に利用されないこと。
- (12) 禁止ワードや機密情報の入力制限の機能を有し、入力ブロックができること。情報は、氏名や住所、電話番号などのカテゴリで設定できるとともに、禁止ワードを任意で設定ができること。
- (13) Rag (Retrieval-Augmented Generation) により、データを取り込み、その内容をもとにした生成を行うデータ連携機能があること。
- (14) テンプレートを作成でき、他の利用者と共有できること。
- (15) 自治体向けのプロンプトのテンプレート機能を有していること
- (16) ログイン時に、ユーザーアカウントとパスワードによるユーザー認証ができること。
- (17) 管理者アカウントが、アカウントごとに利用状況を確認できる機能があり、CSV 等でダウンロードできること。
- (18) 利用者と管理者を分けて権限設定ができ、所属別などグループ分けが可能なこと。
- (19) どのアカウントが、いつ、どのような操作を行ったか履歴を確認できること。

5 セキュリティ対策

- (1) アクセスログ及び各種通信ログを取得し、情報漏えい、不正アクセス等を監視すること。
- (2) 情報セキュリティインシデントが発生した際には、速やかに明石市に連絡し、被害拡大防止、原因特定等を行うこと。
- (3) 本サービスの提供に従事する者（再委託先の者を含む）は、昨今の情報漏洩事案を鑑み、情報漏洩対策について十分に理解し、適切に実施できる者であること。
- (4) 本サービスで使用するサーバ及びデータの保管場所は、日本国内に限る。

6 請求及び支払い

利用料は、月額料金とし、毎月後払いとする。

7 その他

本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議を行い、その解決を図るものとする。